

ステンレス 家具転倒防止 突っ張り棒2本組

取扱説明書

L02

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本製品を安全にご使用していただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

【使用上の注意】

- 人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の保証や責任を負いません。
- 本製品の組立ては取扱説明書の記載通りに行う。誤った方法で組立てを行うと、ケガや破損のおそれがあります。
- 本製品は家具を完全に固定するものではなく、あくまで簡易転倒防止器具です。取付け状態や震度などにより効果が薄れる場合があります。
- 本製品を取り付けた数日後および地震後または定期的に取り付け状態の点検を行い、固定が弱まっているときは調整を行う。
- 大きな地震後や長期間使用している場合、劣化のおそれがあるので新品と交換することをおすすめします。
- 本製品の分解や改造は絶対にしない。
- 子どもに組立てや取付けをさせない。
- 用途以外に使用しない。
- 本製品は屋内専用です。
- 落としたり、強い衝撃を与えない。破損、ケガにつながるおそれがあります。
- 火気や熱源の近くに取り付けない。変形するおそれがあります。
- 水のかかる所や湿気の多い所に取り付けない。
- 清掃する場合は、水に浸した柔らかい布を固く絞って拭く。もしくは水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、洗剤が残らないようにしっかりと拭き取る。
- 廃棄する場合は、各自治体の条例に従って処分してください。

【取付上の注意】

- 強度のある天井、家具に取り付けてください。
- 完全なつり天井の場合、効果が出ない場合があります。
- 強度の弱い天井、家具に取り付ける場合、天井側に家具の幅以上の当て板で補強してください。
- キャスター付きの家具に取り付けする場合は、キャスターをしっかり固定してください。
- 幅の狭い家具に使用するときでも、安全のために必ず左右2本取り付けてください。
- 天井や家具等取り付ける場所によって耐圧強度が異なります。
- 固定ネジを過度に締めすぎたり、繰り返し締めたり、緩めたりしないでください。ネジ山が潰れて、空回りする原因になります。

【製品仕様】

サイズ	型番	商品サイズ	重量	取付範囲
Sサイズ	OMC-DPEP01S	約24.5×5.8×30~45cm	約425g	約30~45cm
Mサイズ	OMC-DPEP01M	約24.5×5.8×45~75cm	約580g	約45~75cm
Lサイズ	OMC-DPEP01L	約24.5×5.8×65~114cm	約740g	約65~114cm
耐圧強度		材質	製造国	
250kg (2本使用時)		ステンレス巻きスチール、 ABS樹脂、EVA	中国	

【商品に関するお問い合わせ】

株式会社オムニ サービスセンター

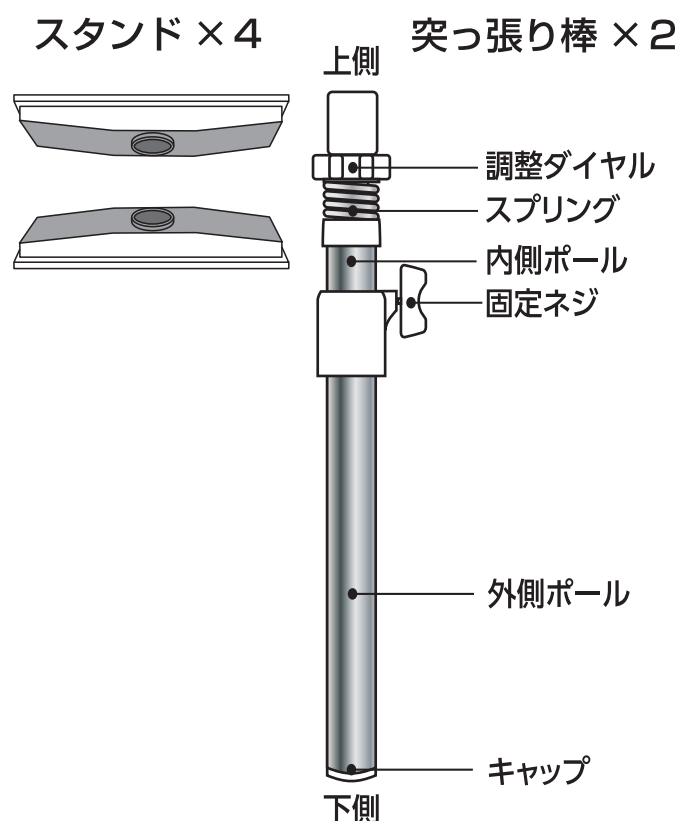
固定電話からは ☎ 0120-77-55-22 (通話料無料)

携帯電話からは 078-802-8504 FAX 078-802-8506

受付時間 10:00~12:00/13:00~17:00 月~金曜日(祝日除く)

都合によりお休みさせていただくことがあります。

【セット内容と各部の名称】



〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町3-2-8
お電話が繋がらない場合はホームページ及び
メールにてお問い合わせください。

ホームページ <http://kk-omni.co.jp/>
メール info775522@kk-omni.co.jp



二次元コードを
読み取るだけで
手軽にアクセス
できます。

組立方法

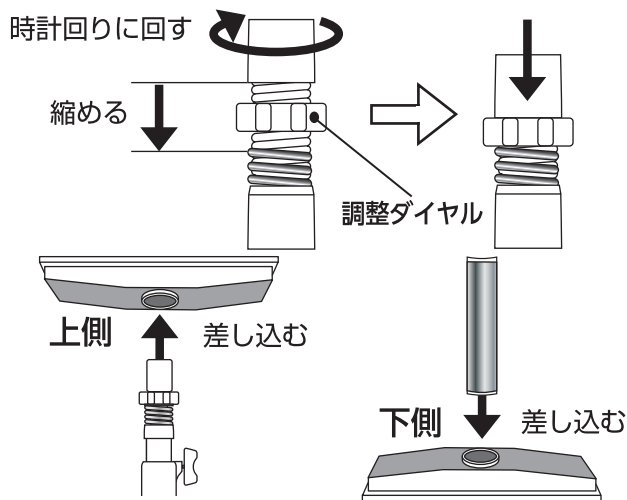
① 突っ張り棒の上部を縮める

突っ張り棒のスプリングの上側が伸びている場合は、調整ダイヤルを押さえながら、突っ張り棒の上部を時計回りに回して縮めてください。

② スタンドに突っ張り棒を取り付ける

突っ張り棒をスタンドの穴にしっかり差し込んでください。

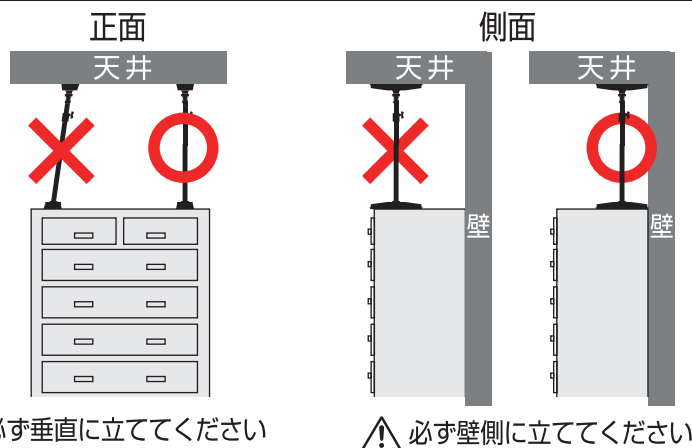
※スタンドは突っ張り棒の上側、下側のどちら側でも取付け可能です。



取付位置

① 取付け位置を決める

- 家具の両端の奥側および天井の桟や芯材の部分に取り付けてください。
- 強度の弱い天井に取り付ける場合は、当て板などで補強してから取り付けてください。



取付方法

① 天井に当たるまで高さを調整する

取付け位置に置いた状態で上部のスタンドが天井に当たるまで内側ポールを引き伸ばしてください。

② 天井に押し付け固定する

スタンドを天井に押し付けながら固定ネジを時計回りに回してしっかり締め付けてください。

③ 内側のポールが固定されたか確認する

上下左右にゆすってください。動くようであれば再度固定ネジを締めてください。

※締め具合の目安は、右図をご確認ください。

④ 調整ダイヤルで固定する

上部のスタンドを押さえながら、調整ダイヤルが動かなくなるまで時計回りに回してください。

⑤ 確実に固定されたことを確認する

手で突っ張り棒を左右にゆすり、ずれたり、外れたりしないか確認をしてください。

⑥ 動いた場合

調整ダイヤルと固定ネジを緩めて、①からやり直してください。再度固定するときは、必ず内側ポールを回して固定ネジの固定位置を変更してください。同じ位置で固定すると内側ポールの穴が大きくなり、ガタツキや確実に固定できなくなるおそれがあります。

